

市立保育園民営化対象候補園の選定について

1 選定の基本的な考え方

- 市立保育園の民営化については、当面 5 園を対象にすすめる。
- 民営化対象候補園の選定にあたっては、次の事項を踏まえ検討を行う。
 - ・ 基本的な選定基準項目を「待機児童対策優先度」「受入枠拡大可能度」「建物老朽度」とする。
 - ・ 園ごとに「譲渡型」「移転型」「建替型」(※1)に区分して、それぞれ選定基準に基づき現段階における客観的な評価を行う。
 - ・ 実現可能性について明記する。
- 待機児童数や乳幼児推計人口の状況、民営化の実現可能性の面など、総合的に勘案して、早期に取り組む民営化対象候補園を決定する。
- 特に、年度当初はもとより年度途中も含め、待機児童数が 0～2 歳児に多い状況を鑑み、移管先の事業者がこうした年齢児枠の拡大に優先的に取り組めるよう、移管手法などを見据えながら選考する。

(※1)

「譲渡型」は、小規模改修により譲渡する場合、現施設を数年後以内の建替えを前提に譲渡し、別用地に分園を新設する場合などを想定（土地は無償貸与）。

「移転型」は、市が新たに用地を取得し、移管先事業者が施設を新設（土地は無償貸与）する場合などを想定。旧用地は売却。

「建替型」は、園庭内や他の用地に仮園舎を設置し、現施設を建替える場合などを想定。

2 結論

- 保育園の待機児童が解消されず、受入枠の拡大を図ることが喫緊の課題となっている状況の中、民営化対象候補園の選定にあたっては、受入枠拡大や建物老朽度の視点はもとより、待機児童数の現況や今後の保育需要の見込み数などを勘案し、とりわけ 0～2 歳児を中心とした待機児童対策として最も有効なエリアと実現可能性を優先して選考することとした。
- このため、民営化の対象となる当面 5 園の選考については、早期に取り組むべきエリアから 2 園を民営化対象候補園として選考することとし、残り 3 園については 2 園の民営化の評価や、市が今後実施する施設の耐震診断の結果などを加味したうえで選考する。

- この結果、待機児童は依然として北西部に多い状況が続いていることや、今後も保育需要の増加が見込まれること、0～2歳児の受入枠拡大の要件を備えていることなどを勘案し、早期に取り組むべき民営化対象候補園として、1園目を市立西砂保育園に、2園目を市立見影橋保育園にそれぞれ決定する。
- これにより、議会での報告を経て、立川市立保育園民営化ガイドラインに基づき、対象候補園決定について市民に公表するとともに、保護者等に対する説明会を開催する。合わせて、議会報告前に職員団体にも決定内容を説明する。
- 今後、市立保育園民営化の推進により子育て支援拡充の財源を確保するとともに、市立保育園が蓄積する経験と実績を活用して、地域におけるきめ細かな子育て支援サービスの拡充を図っていく。

(資料)

- 資料1 市立保育園民営化対象候補園選定基準
- 資料2 立川市保育園分布図
- 資料3 市立保育園民営化対象候補園の選定評価表
- 資料4 ブロック別待機児童数の推移と保育園建物の状況
- 資料5 乳幼児人口の推計（推移人口）
- 資料6 市立保育園民営化の手順
- 資料7 市立保育園民営化に関する保護者説明会

資料1

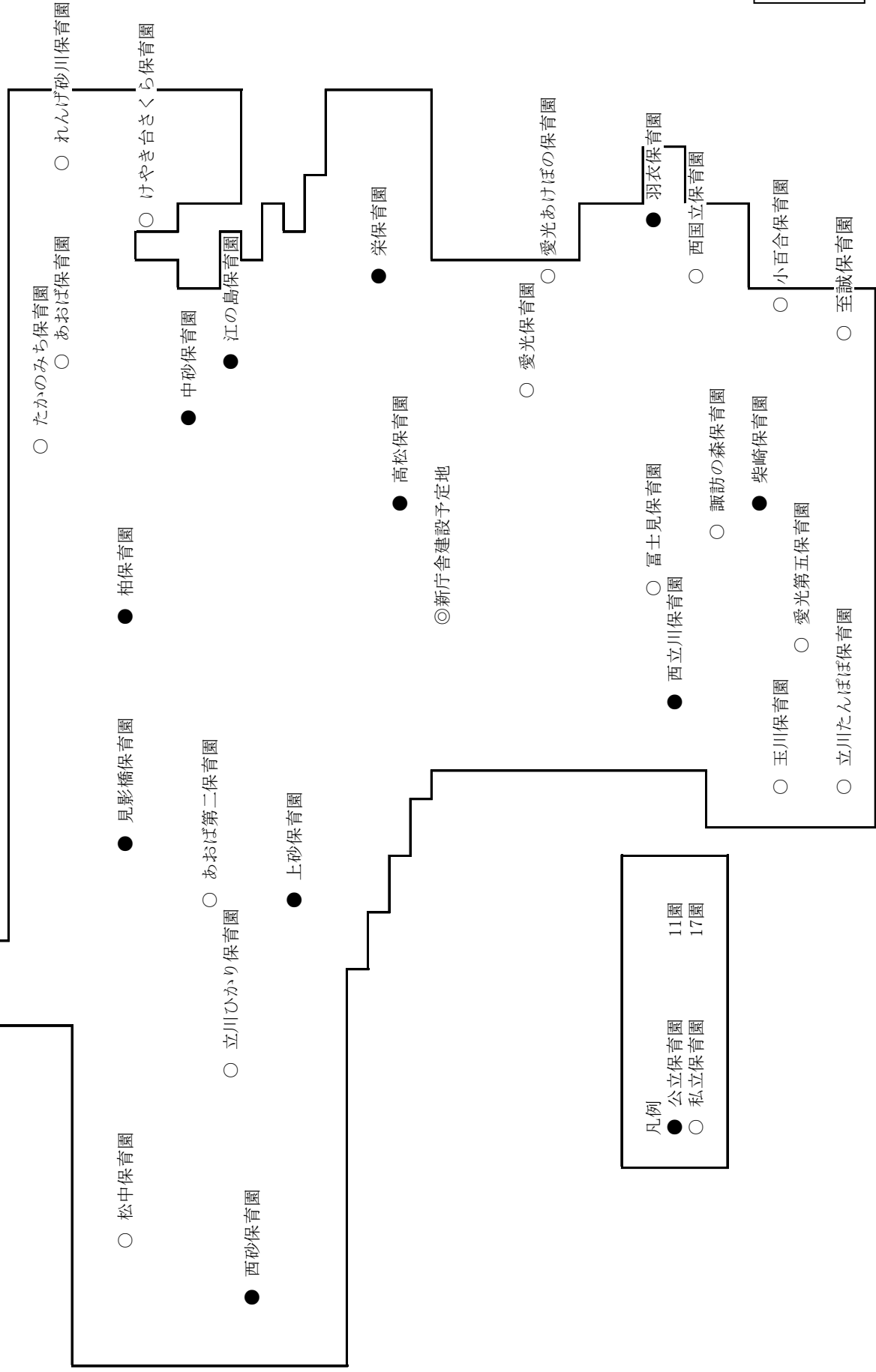
市立保育園民営化対象候補園選定基準

1 基本的選定基準項目

NO	基準項目	選定基準		
1	待機児童対策優先度 (ブロック内待機児童数・3か 年平均値、0～2歳児待機児童 数の状況)	大いに優先すべき	やや優先すべき	他園を優先すべき
		◎	○	△
2	受入枠拡大可能度（想定数）	20人以上拡大	1～20人	0人
		◎	○	△
3	建物老朽度（耐震性、建築年）	昭和56年以前	昭和57年以降	※昭和56年 建築基準法施行令改 正（新耐震設計基 準）
		◎	○	

立川市保育園分布図

(平成20年4月1日現在)



資料 2

市立保育園民営化対象候補園の選考評価表

評価点 保育園名 (ブロック別)	定員	区分	1 待機児童 対策優先度	2 受入枠拡大 可能性	3 建物老朽 度・要手立	待機 児童数 H20H19	現 況	方向性及び 実現可能性	決 定
I	柴崎保育園	100	譲渡型	○	◎	◎	例：北側市有地活用により分園 対象用地なし		
	S47年築	移転型	○	◎	◎				
		建替型	○	◎	◎	11	例：北側市有地活用（仮園舎後に分園として配置）		
		譲渡型	○	△	◎	12	小規模改修しても受入枠の拡大が期待できない		
	S51年築	移転型	○	◎	◎		対象用地なし		
II	羽衣保育園	100	建替型	○	◎	◎	仮園舎対応（園庭内）		
		譲渡型	△	◎	◎	8	現施設譲渡・例：地域防災センター跡地に分園設置		
		移転型	△	◎	◎	11	対象用地なし		
	S48年築	建替型	△	○	◎		仮園舎対応（都立養護学校跡地）		
		譲渡型	○	○	◎	16	小規模改修しても受入枠の拡大が期待できない		
III	高松保育園	80	移転型	○	◎	◎	対象用地なし		
	S47年築	移転型	○	◎	◎	17	仮園舎対応（園庭内）		
		建替型	○	◎	◎				
		譲渡型	△	○	◎		小規模改修しても受入枠の拡大が期待できない		
	S40年築	移転型	△	◎	◎		例：第一調理場跡地活用（H24・25年以降）		
IV	江の島保育園	80	建替型	△	○	◎	仮園舎対応（公園用地）		
	S40年築	移転型	△	○	◎	7	小規模改修しても受入枠の拡大が期待できない		
		移転型	△	◎	◎	16	仮園舎対応（園庭内）		
		建替型	△	○	◎		例：第一調理場跡地活用（H24・25年以降）		
	S43年築	移転型	△	○	◎		小規模改修しても受入枠の拡大が期待できない		
V	栄保育園	100	譲渡型	△	○	◎	仮園舎対応（園庭内）		
	S53年築	移転型	△	◎	◎		小規模改修しても受入枠の拡大が期待できない		
		移転型	△	◎	◎		対象用地なし		
		建替型	△	◎	◎	26	仮園舎対応（園庭内）		
	柏保育園	120	譲渡型	◎	○	◎	小規模改修しても受入枠の拡大が期待できない		
VI	見影橋保育園	122	移転型	◎	◎	◎	対象用地なし		
		移転型	◎	◎	◎	19	仮園舎対応（園庭内）		
		建替型	◎	◎	◎		小規模改修または現施設譲渡・分園新設（検討余地あり）		
	S50年築	移転型	◎	◎	◎		現段階では対象用地ないが検討余地あり	○	○
		建替型	◎	◎	◎		仮園舎対応（近隣用地借用又は園庭内）	○	○
VII	上砂保育園	113	譲渡型	◎	△	○	*制約・配慮（都営住宅内に設置）		
	H12年築	移転型	◎	◎	○	33	建物老朽に至っていない		
		移転型	◎	◎	○	43	対象用地なし		
		建替型	◎	△	○		例：北側私有地検討、現施設譲渡・分園新設		
	S50年築	122	譲渡型	◎	◎	◎	現段階では対象用地ないが検討余地あり	○	○
VIII	西砂保育園	122	移転型	◎	◎	◎	仮園舎対応（近隣用地または園庭内）		
		移転型	◎	◎	◎				
		建替型	◎	◎	◎				
	S50年築	移転型	◎	◎	◎		現施設譲渡・分園新設による移	○	○
		建替型	◎	◎	◎		管が望ましい（建替型も検討）	○	○

1 ブロック別待機児童数の推移

(単位：人)

	第 1 BL					第 2 BL					第 3 BL					第 4 BL					第 5 BL					第 6 BL					合計
	南部西					南部東					中部					北部東					北部中					北部西					
年齢	0	1	2	3 ~5	計	0	1	2	3 ~5	計	0	1	2	3 ~5	計	0	1	2	3 ~5	計	0	1	2	3 ~5	計	0	1	2	3 ~5	計	
H16年	2	8	10	1	21	0	0	1	0	1	2	8	3	3	16	0	10	4	0	14	0	5	1	6	12	1	16	12	8	37	101
H17年	1	5	11	4	21	0	0	5	1	6	1	4	3	0	8	0	3	3	3	9	1	2	8	3	14	5	12	14	16	47	105
H18年	6	8	0	0	14	1	5	3	1	10	0	4	2	1	7	0	3	4	1	8	1	3	4	1	9	4	12	12	13	41	89
H19年	1	7	4	0	12	0	7	4	0	11	1	10	5	1	17	0	5	10	1	16	0	9	9	1	19	0	20	16	7	43	118
H20年	0	5	6	0	11	0	2	6	0	8	1	11	3	1	16	1	2	1	3	7	4	1	11	10	26	10	9	8	6	33	101

※各年 4 月 1 日現在

※国が定める新カウント方式による待機児童数

2 保育園建物の状況

	BL	保育園名	構 造	新築・改築年	認可定員	備 考
公立	南部西	柴崎保育園	鉄筋コンクリート	昭和47年	100 人	
		西立川保育園	鉄筋コンクリート	昭和51年	100 人	
	南部東	羽衣保育園	鉄筋コンクリート	昭和48年	100 人	
		高松保育園	鉄筋コンクリート	昭和47年	80 人	
	北部東	江の島保育園	木造モルタル	昭和40年	80 人	
		中砂保育園	鉄筋コンクリート	昭和43年	150 人	
		栄保育園	鉄筋コンクリート	昭和53年	100 人	
	北部中	柏保育園	鉄筋コンクリート	昭和49年	120 人	
		見影橋保育園	鉄筋コンクリート	昭和50年	122 人	
	北部西	上砂保育園	鉄筋コンクリート	平成12年	113 人	
		西砂保育園	鉄筋コンクリート	昭和50年	122 人	
私立	南部西	富士見保育園	鉄筋コンクリート	昭和49年	180 人	
		諏訪の森保育園	鉄筋コンクリート	昭和45年	81 人	
		玉川保育園	鉄筋コンクリート	平成元年	110 人	
		愛光第五保育園	鉄筋コンクリート	昭和53年	88 人	
		立川たんぼぼ保育園	鉄筋コンクリート	昭和50年	65 人	
	南部東	西国立保育園	鉄筋コンクリート	昭和54年	60 人	H9大規模修繕実施
		至誠保育園	鉄筋コンクリート	平成17年	100 人	
		小百合保育園	鉄筋コンクリート	昭和54年	100 人	
	中 部	愛光保育園	鉄筋コンクリート	昭和51年	130 人	
		愛光あけぼの保育園	鉄筋コンクリート	平成14年	105 人	
	北部東	けやき台さくら保育園	鉄筋コンクリート	平成元年	120 人	
		れんげ砂川保育園	鉄筋コンクリート	平成 5 年	170 人	
	北部中	あおば保育園	鉄筋コンクリート	昭和46年	116 人	
		たかのみち保育園	鉄筋コンクリート	昭和54年	100 人	
	北部西	松中保育園	鉄筋コンクリート	昭和47年	120 人	H16大規模修繕実施
		あおば第二保育園	鉄筋コンクリート	昭和49年	111 人	
		立川ひかり保育園	鉄筋コンクリート	昭和55年	72 人	

乳幼児人口の推計（人口推移）

（年齢別）

単位：人（各年4月1日現在）

平成	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	備 考
	15年	1,542	1,459	1,539	1,473	1,539	1,489	9,041	
	16年	1,499	1,608	1,496	1,549	1,504	1,540	9,196	
	17年	1,475	1,497	1,602	1,503	1,531	1,494	9,102	
	18年	1,467	1,517	1,518	1,575	1,479	1,541	9,097	
	19年	1,463	1,510	1,535	1,519	1,587	1,480	9,094	
	20年	1,530	1,476	1,493	1,502	1,544	1,563	9,108	
	21年	1,458	1,505	1,515	1,536	1,506	1,478	8,998	①市営一番町北住宅建替(約80戸)20人増(第6BL)
	22年	1,426	1,478	1,504	1,518	1,533	1,508	8,967	②昭和記念公園周辺開発(253戸)25人増(第3BL)
	23年	1,394	1,445	1,477	1,508	1,515	1,535	8,874	③西武立川駅前開発(約700戸)176人増(第6BL)
	24年	1,360	1,413	1,444	1,481	1,505	1,517	8,720	
	25年	1,334	1,379	1,412	1,447	1,478	1,507	8,557	※平成25年度以降
	26年	1,305	1,352	1,378	1,415	1,444	1,480	8,374	④立川駅北口西地区再開発事業 (290戸)30人増(第3BL)
	27年	1,271	1,322	1,351	1,381	1,412	1,445	8,182	⑤武蔵砂川駅北部開発の動向(第6BL)
	28年	1,243	1,288	1,321	1,354	1,378	1,413	7,997	
	29年	1,218	1,260	1,287	1,324	1,351	1,379	7,819	

※乳幼児人口の推計値には、備考欄中に記載のある要因に伴う乳幼児人口の増は算入していません

（ブロック別）

単位：人（各年1月1日現在）

年度	第1 BL		第2 BL		第3 BL		第4 BL		第5 BL		第6 BL		合 計
	柴崎・富士見		羽衣・錦		高松・曙・緑		栄・若葉		幸・柏・泉・砂川		上砂・一番・西砂		
	乳幼児人口	保育需要	乳幼児人口	保育需要	乳幼児人口	保育需要	乳幼児人口	保育需要	乳幼児人口	保育需要	乳幼児人口	保育需要	
18年度	1,578		1,115		949		1,357		2,151		1,895		9,045
19年度	1,533		1,170		1,064		1,293		2,175		1,870		9,105
20年度	1,492		1,152		1,176		1,308		2,147		1,805		9,080
21年度	1,466		1,132		1,159		1,290		2,113		1,774	① ↗	8,934
22年度	1,461		1,128		1,153	② ↗	1,285		2,105		1,769		8,901
23年度	1,446		1,116		1,140		1,271		2,083		1,753	③ ↗	8,809
24年度	1,422		1,097		1,118		1,250		2,047		1,723		8,657
25年度	1,395		1,076		1,097	④ ↗	1,226		2,009		1,691		8,494
26年度	1,365		1,053		1,074		1,200		1,966		1,654		8,312
27年度	1,334		1,028		1,049		1,172		1,920		1,617		8,120
28年度	1,303		1,005		1,025		1,146		1,877		1,579		7,935
29年度	1,275		984		1,003		1,120		1,835	⑤ ↗	1,546	⑤ ↗	7,763

※保育需要の矢印は、①～⑤の影響に伴う見込みを表記したものです

定員：平成20年4月1日現在

	公立	私立	定員
第1BL	柴崎、西立川	富士見、玉川、愛光第五、たんぼぼ、諏訪の森	727
第2BL	羽衣	至誠、西国立、小百合	389
第3BL	高松	愛光、愛光あけぼの	325
第4BL	江の島、中砂、栄	けやき台さくら、れんげ砂川	603
第5BL	柏、見影橋	あおば、たかのみち	477
第6BL	上砂、西砂	松中、あおば第二、ひかり	577

市立保育園民営化の手順

●は当面の取り組み予定

	西砂保育園	見影橋保育園
○ 対象候補園の決定		
○ 職員団体等説明		
○ 保護者説明会	●	●
	(21年度まで随時開催)	
○ 移管手法等の検討	●	●
○ 移管手法等の方針決定	●	21年度以降
○ 事業者公募	●	
○ 事業者選定委員会の設置	●	
○ 事業者の決定	●	
○ 事業者・保護者・立川市3者による懇談会	●	
○ 施設整備等	●	
○ 保育の引継	●	
○ 認可申請・許可	●	
○ 事業者による運営開始（移管）	●	
○ 合同保育	●	
○ 事業者・保護者・立川市3者による懇談会の継続	●	
○ 相談窓口の設置	●	
○ 保育士等による巡回・助言の実施	●	
○ 移管後の評価・検証	●	

保護者説明会の開催について

下記のとおり、民営化対象候補園の保護者の方を対象に説明会を開催いたします。
 保育を希望される方は、それぞれ開催日の 10 日前までに各園にお申し込みください。

記

1 西砂保育園（1 園目）対象

会場 いずれも西砂保育園

○ 1 回目説明会

6 月 2 8 日（土） 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0

7 月 2 日（水） 1 9 : 0 0 ~ 2 1 : 0 0

○ 2 回目説明会

7 月 1 9 日（土） 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0

7 月 2 2 日（火） 1 9 : 0 0 ~ 2 1 : 0 0

○ 随時開催

2 見影橋保育園（2 園目）対象

○ 1 回目説明会

7 月 5 日（土） 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0

会場 こんぴら橋会館

7 月 8 日（火） 1 9 : 0 0 ~ 2 1 : 0 0

会場 見影橋保育園

○ 随時開催

■問い合わせ

子ども家庭部保育課（電話 5 2 3 - 2 1 1 1 内線 5 6 9）

■保育の申し込み

西砂保育園 （電話 5 3 1 - 0 5 1 4）

見影橋保育園 （電話 5 3 6 - 1 6 4 4）